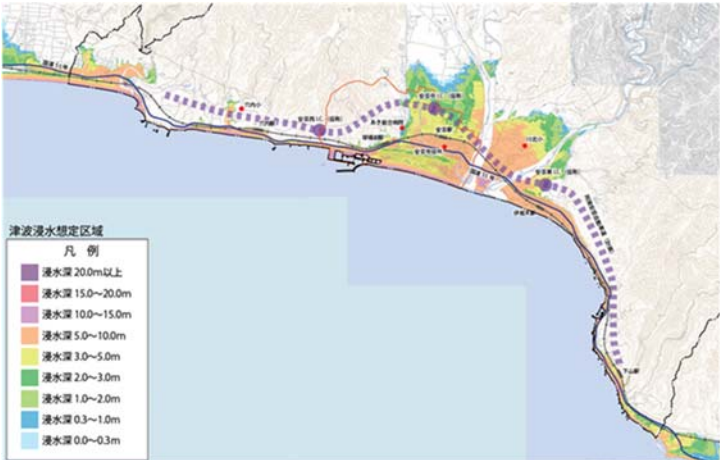


■第 2 回 安芸市都市計画マスタープラン策定委員会における指摘事項と対応

- ・平成 31 年 2 月 20 日（火）、「第 2 回 安芸市都市計画マスタープラン策定委員会」を開催しました。
- ・第 2 回策定委員会における指摘事項について、今後の対応を以下に示します。

（１）都市計画マスタープランについて

資料名（頁）	指摘事項	事務局の対応方針
資料 2 安芸市の概況（現況・見通し） （p3-28）	・安芸総合庁舎が高知県東部地域の防災拠点とありますが、県の防災の位置づけがされているのですか。（竹部委員）	・以下において、位置づけがされています。 ・高知県警察 HP 広域防災拠点「広域の防災拠点及び第 1 次救援ルート一覧表」（高知県警察本部） →広域防災拠点：安芸総合庁舎、安芸市総合運動場、あき総合病院、安芸市消防本部、安芸警察署 ・高知県緊急輸送道路ネットワーク計画 →防災拠点の考え方「防災拠点一覧／安芸土木事務所・安芸福祉保健所」 ・安芸市道路交通網ビジョン（平成 22 年 10 月） →「総合庁舎の整備 高知県安芸総合庁舎は、高知県東部地域の防災拠点として災害対策支部及び災害医療対策支部を設置することとなる防災上の重要拠点」
資料 2 安芸市の概況（現況・見通し） （p3-38）	・産業について、安芸市は観光でちりめんじゃこを売り出しており、水産業についても整理するべきではないでしょうか。（竹部委員）	・「3.1.7 産業（3）漁業」にて「安芸市魚種別漁獲量」を追記いたしました。 →「安芸市魚種別漁獲量」（いわし類 444t（49.1%））

資料名（頁）	指摘事項	事務局の対応方針
資料 2 安芸市の概況（現況・見通し） （p3-50）	・災害について、「近くに高台や高いビルなどもない所では津波避難困難者が多数想定されます」という記述がありますが、安芸市では津波避難困難者の解消に向け、高台や高いビルがない地区においては避難タワーの整備などの一定の対策を行い、その次の対策として、より安全な避難について検討を行っていることから、「多数想定される」という表現はそぐわないのではないのでしょうか。（竹部委員） ・最新データを反映して表現を変えられてもいいのではないのでしょうか。（坂本委員長）	・ご指摘の記述（【浸水危険箇所】）は削除いたしました。
資料 2 安芸市の概況（現況・見通し） （p3-51）	・津波浸水予測の安芸市域の最大浸水深の図面について、安芸市全域が入っていますか。（小松（正）委員） ・津波浸水予測の安芸市域の最大浸水深の図面については、赤野駅と赤野小学校を入れてください。（門脇委員）	・「3.1.9 災害（図 3-40 高知県版第 2 弾 津波浸水予測の安芸市域の最大浸水深）」に安芸市域を掲載しました。 

資料名（頁）	指摘事項	事務局の対応方針
資料 2 安芸市の概況（現況・見通し） （p3-52）	自主防災組織は細分化が進められており、最新の組織数の資料を提供しますので、差し替えをお願いします。	自主防災組織最新データ差替えにて対応いたします。 →「安芸市の自主防災組織は平成 15 年には 9.4%と全国水準・高知県水準を大きく下回っていましたが、平成 17 年には全国平均を上回り、平成 30 年 4 月 1 日現在 49 組織、組織率 100%（※「自主防災組織の現況」高知県資料）となっています。」と修正いたしました。
（全体にわたって）	統計データは年度を合わせた方が良くないでしょうか。（秋元委員）	- 現在データ収集中で、できる限りあわせるように対応いたします。 - ただし、国勢調査、商業統計、工業統計については、それぞれ調査年が異なるため、あわせることができないものもあることをご了承ください。
資料 2 安芸市の概況（現況・見通し） （p3-17）	「土居廊中」を「土居廓中」に修正してください。（小松（正）委員）	「土居廓中」と修正しました。
資料 2 安芸市の概況（現況・見通し） （p3-51）	井ノ口地区、東川地区、畑山地区においては津波浸水区域がないとありますが、井ノ口地区は浸水区域ではないでしょうか。確認をお願いします。（門脇委員）	- ご指摘のとおり、井ノ口地区の南部の一部が区域内となります。 - なお、ご指摘の記述（【浸水危険箇所】）は削除いたしました。

資料名（頁）	指摘事項	事務局の対応方針
資料 2 安芸市の概況（現況・見通し）（p3-51）	- 井ノ口地区、東川地区、畑山地区においては、地震・津波被災者を受け入れるための避難収容施設の整備が必要という記述がありますが、東川地区や畑山地区では大きな地震の際に大人数を受け入れることができないのではないのでしょうか。アクセスできる道路も少ないと思います。（門脇委員） - 古い資料からの引用のようですので、最新の現状に合わせて修正をお願いします。（坂本委員長）	ご指摘の記述（【浸水危険箇所】）は削除いたしました。
資料 2 安芸市の概況（現況・見通し）（p3-51）	災害については、地すべり防止区域や土砂災害警戒区域も追加した方が良いと思います。（国藤委員）	「図 避難所・緊急輸送道路・土砂災害危険箇所」を作成しました。（「現況・見通し」に掲載） 凡例 ● 避難所 - 土砂災害危険箇所 - 土石流危険渓流 - 土石流危険区域 - 急傾斜地崩壊危険箇所 - 地すべり危険箇所 - 土砂災害警戒区域 - 緊急輸送道路 - 第1次緊急輸送道路 - 第2次緊急輸送道路 - 都市計画区域 - 市界

資料名（頁）	指摘事項	事務局の対応方針
資料3 市民アンケート調査結果について	・阪神タイガースのキャンプには多くの人が来ていますが、中心市街地には人の流れが少なく、もったいないと思いました。お金を使っただけの仕組みづくりを、今後の課題として検討いただければと思います。（坂本委員長）	・「資料2：全体構想骨子案」にて以下の目標を掲げ、今後検討することとします。 →【目標2. 元気でにぎわいのあるまちづくり】 《元気でにぎわいのある商店街や雇用を生む産業振興に資する環境の形成》 (3)広域ネットワークを活かした新たな産業や広域交流を育成するための土地利用の促進
資料5 主要課題及び将来都市像の検討について	・基本方針の一番目の「安心して暮らせる人にやさしいまちづくり」について、子育て世代や高齢者に障がい者を加えて頂いて、元気に暮らせる環境づくりに取り組めば、どなたも安心して元気に暮らせるようになると思いますので、この視点もぜひ盛り込んでいただきたいと思います。（国藤委員） ・安芸市では平成10年度から健康文化のまちづくりに取り組んでいますが、本人が努力しなくても健康に生活できる環境づくりが重要と考えており、自家用車を利用しなくても歩いて生活しやすい環境をつくるという視点も盛り込んでいただきたいと思います。（国藤委員）	・「資料2：全体構想骨子案」にて以下の都市将来像、目標、方針を掲げ、今後検討いたします。 →■都市づくりのテーマ（将来都市像）（案） 子どもから高齢者、障がい者のみんなが健康で元気に暮らせる『健康・元気都市』 →■基本目標と都市づくりの方針（案） 1.【くらし】健康で安心して暮らせる 人にやさしいまちづくり 《良好な生活環境の維持・保全、整備》 ・子育て世代、高齢者や障がいのある方など全ての方が安心・健康・元気に暮らせる生活環境づくりを推進します。

資料名（頁）	指摘事項	事務局の対応方針
資料5 主要課題及び将来都市像の検討について	• 今後、A I や I C T などの活用が求められてくると思います。医療介護や公共交通、防災などの分野でネットワーク化が進んでいきますので、これらを盛り込んでいくべきだと思います。（岡田委員） • 可能性として記載しておけば、今後の検討が進められるかと思います。（坂本委員長）	• 「資料2：全体構想骨子案」にて以下の方針を掲げ、今後検討いたします。 →5.3.3 土地利用の方針 （1）市街地における住環境に係る土地利用の誘導 ○子育てや健康な暮らしに資する生活サービス機能の誘導 • ICT（情報通信技術）環境の充実、活用により、健康にさせる安全・安心な住環境づくりを検討します。
資料5 主要課題及び将来都市像の検討について	• 市民アンケート調査の「自由意見」の内容についても、基本方針に盛り込まれていると思いますが、せっかくいただいたものなので具体の意見について箇条書きで結構ですのでいただければと思います。（小松（身）委員）	• 「自由意見」を整理し、提出いたします。